

令和5年度入学式報告

4月10日（月）午後2時から相馬高校の体育館で行われた。

来賓は、県議会議長代理で地元選出の荒秀一（昭和45年卒）県議、馬城会の村山正之会長と佐々木政喜副会長（相馬支部長）そしてPTA会長代理の大内広行副会長の4名であった。

新入生は普通科108名、理数科32名の計140名で、定員より20名少ない状況である。



入学者代表宣誓をする杉本葵さん

4月に県教育センター所長より着任した佐藤秀美校長先生は、2000年代に国語の教員として相高で教鞭をとった。

校長先生の式辞で、4月から、今は周りに人がまばらな小高の実家に住んでいるが、その庭に咲く滑らかな黄色い蠟梅の花から感じた希望と感慨を述べたのが鮮やかに印象に残った。



馬城会長祝辞

5年度から、声を出しての歌唱が可能になり、国歌も校歌も久しぶりに声を出して歌った。

校歌は、体育館後部に配した吹奏楽部が演奏し、先生方が歌った。

式終了後、学級担任と副担任の紹介があり、新入生たちは、緊張の面持ちで見つめていた。



学級担任と副担任の紹介